

Maritime Daily News

マリタイムデーリーニュース

日刊〔但し、土曜・日曜・祝日は休刊〕

昭和61年6月30日 第三種郵便認可

発行所

株式会社 マリタイムデーリーニュース社

発行人 高妻秀道 編集人 高妻秀聡

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-1-7 中村ビル

TEL.03-3865-2828(代) FAX.03-3865-2861

URL: <http://www.maritime.co.jp>

購読料 1ヵ月/¥17,600(内税) ©禁転載・複写

No.15883

2018年(平成30年)

4月24日(火)

姫路港中島地区に約2万㎡の新ヤード

..... 3

飾磨海運、ばら貨物の保管能力強化

2018年4月24日(火)

マリタイムデーリーニュース

第三種郵便物認可

姫路港中島地区に約2万㎡の新ヤード／飾磨海運、ばら貨物の保管能力強化

姫路港を拠点に港湾運送業務を展開する飾磨海運(兵庫県姫路市、水田裕一郎社長)が、中島地区に新たな野積場「中島ヤード」を開設した。

姫路港は瀬戸内海の東部、播磨灘のほぼ中央に位置し、東西約18kmを港湾区域とする国際拠点港湾。播磨工業地帯の中核港湾であり、鉄鋼や化学産業の製造業、電気・ガスなどのエネ

ルギー産業を支え、播磨地域のみならず関西経済を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

新たに整備された新ヤードは面積が約2万㎡。中島埠頭の岸壁から約200mの好位置にあり、林産品や鋼材、プラントなどの取り扱いを見込んでいる。

今回のヤード開設を契機に同社では、港湾荷役作業と保管・入出庫作業などの効率化を進める。すでにパイ



新たに開設した中島ヤード

オマス発電に使用するPKS(パームヤシ殻)を保管しており、地方港でも競争力を持てるばら積み貨物に特化した戦略で成長に弾みをつけていく。

港湾運送業、倉庫業などを担う同社は、2000年に国際コンテナ定期航路が開設された姫路港のコンテナリゼーションにいち早く対応。中島埠頭コンテナヤードで40トン多目的クレーン

による荷役作業などを行っている。

これまで飾磨埠頭に上屋を2棟(1000㎡・500㎡)、飾磨埠頭と中島埠頭に野積場を整備。中島ヤードの開設により保有する野積場は合計で約6万1000㎡となる。同社では「今後も姫路港での海上貨物の集荷に努め、新規取扱貨物の獲得を目指していく」と話している。